

# 2024年3月期（第14期） 第3四半期決算説明資料

2024.1.25

テクノホライゾン株式会社  
代表取締役社長 野村拡張



テクノホライゾン株式会社

## 目次

---

1. 2024年3月期（第14期） 第3四半期決算概要
2. 2024年3月期（第14期） 通期業績予想
3. トピックス

# 1. 2024年3月期（第14期） 第3四半期決算概要

## (1) 2024年3月期 損益サマリー

単位：百万円

前年度実績比  
増収増益

## 増収要因：

- ・主に連結範囲の拡大が寄与
- ・「映像&IT」「ロボティクス」ともに増収

## 増益要因：

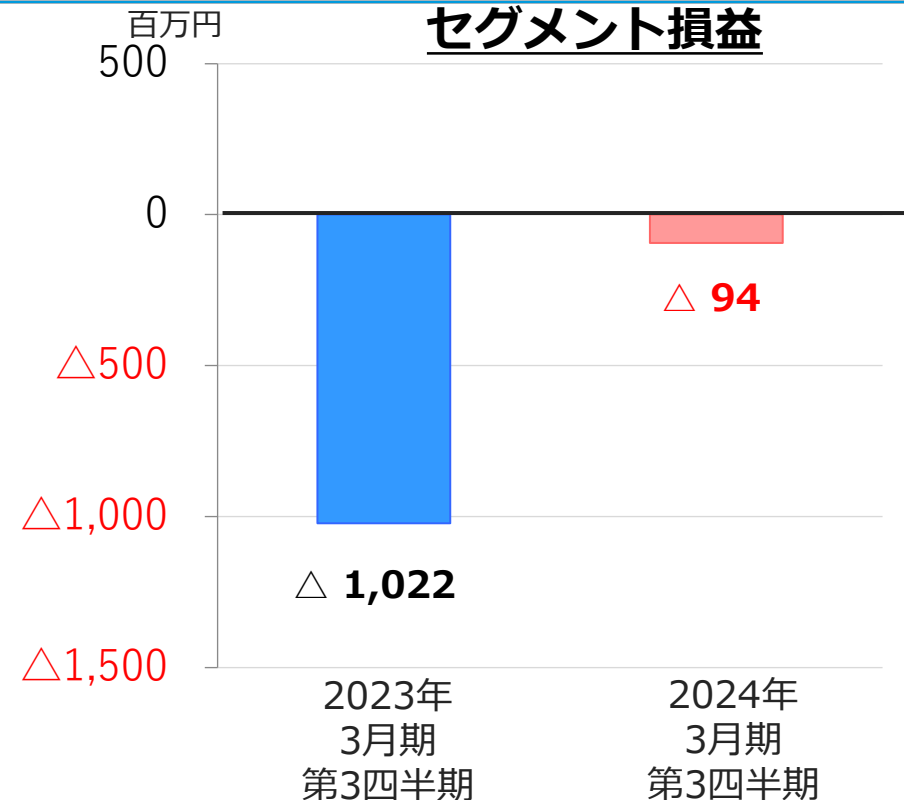
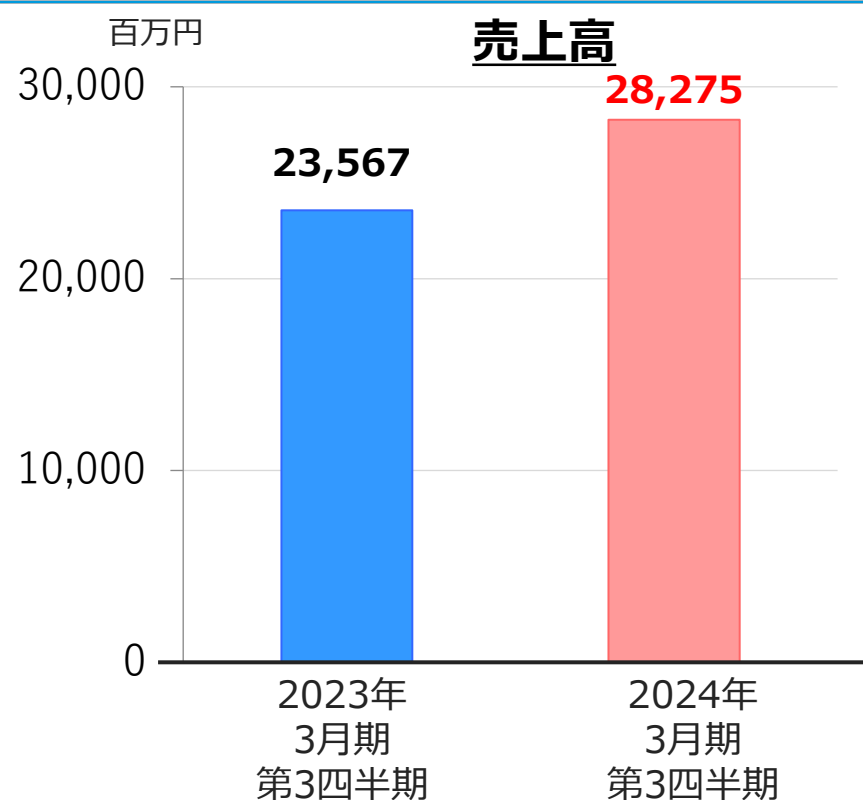
- ・売上の増加
- ・販管費の減少

## その他：

- ・営業外収益365百万円(為替差益)
- ・特別損失 201百万円(製品保証引金)

	2023年 3月期 第3四半期	2024年 3月期 第3四半期	増減	増減率
売上高	29,710	34,429	+4,718	15.9%
映像&IT	23,567	28,275	+4,708	20.0%
ロボティクス	6,143	6,153	+10	0.2%
営業利益	△1,202	60	+1,262	—
経常利益	△1,084	479	+1,563	—
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△1,784	△27	+1,757	—

## (2) 映像 & IT 事業セグメントの損益

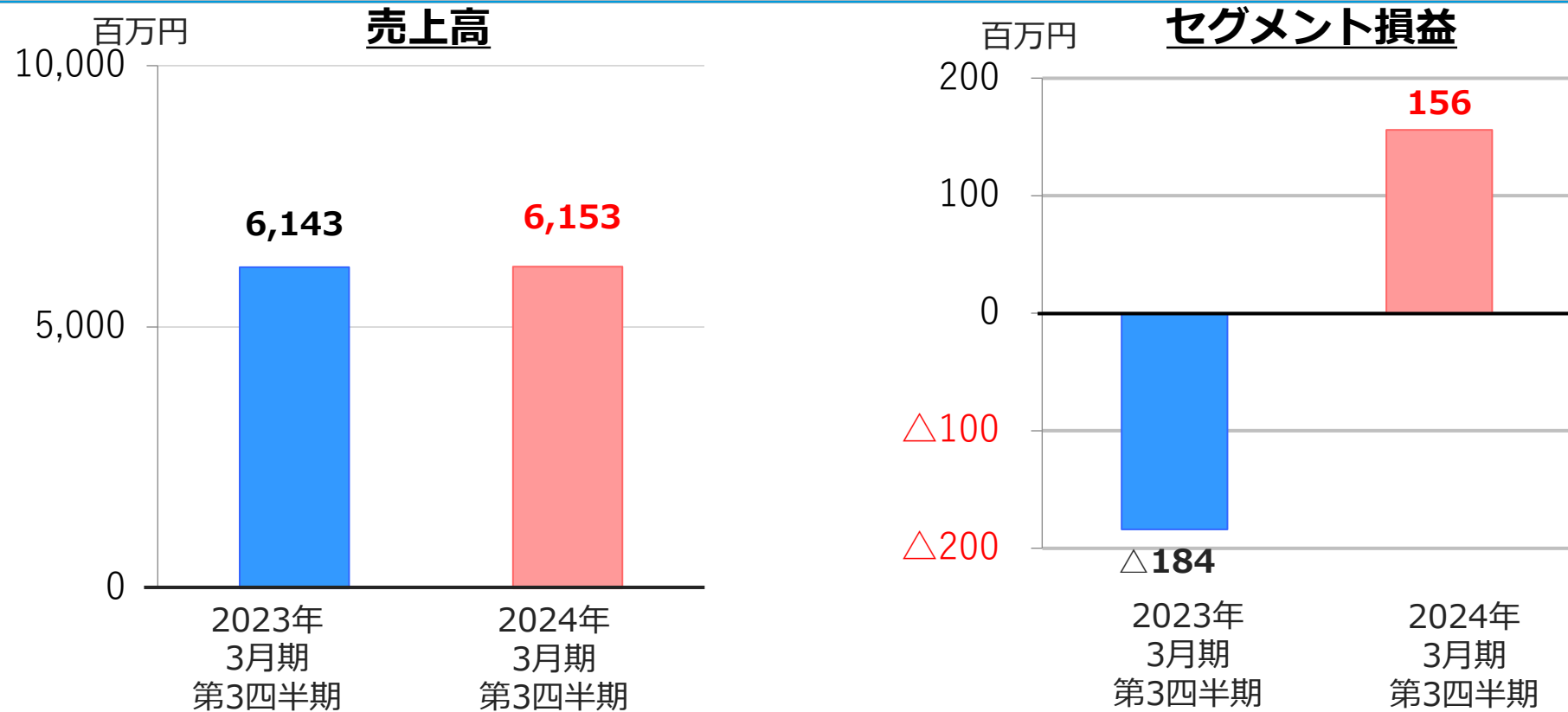


- ・教育市場（電子黒板、書画カメラ等）：①国内 ICT機器の導入が想定より進まず  
②欧米 アメリカで計画を下回る

新製品の投入やソフトウェア販売を強化し、新規および更新需要の掘り起こしに努める

- ・シンガポールの子会社2社（アジア地域でのサイバーセキュリティ製品の卸売及びオフィス機器やAVシステムの販売）が堅調に推移
- ・円安による原材料費上昇、部品調達難に伴う生産効率の低下により想定以上に利益の下押し圧力が強まる

### (3) ロボティクス事業セグメントの損益



- ・ FA事業関連機器：①国内 労働力不足による工場の省力化ニーズは堅調  
②中国 景気減速による設備投資抑制の影響
- ・ 部品調達難の影響は未だあるものの経費削減によりセグメント利益が増加

## (4) 2024年3月期 連結貸借対照表

単位：百万円

科目	2023年 3月期	2024年 3月期 第3四半期	増減
流動資産	27,386	26,493	△ 893
固定資産	9,516	9,502	△ 14
<b>資産合計</b>	<b>36,903</b>	<b>35,995</b>	<b>△ 907</b>
流動負債	22,758	21,165	△ 1,592
固定負債	5,433	5,489	+ 55
<b>負債合計</b>	<b>28,192</b>	<b>26,655</b>	<b>△ 1,537</b>
株主資本	7,177	7,060	△ 116
その他の包括利益合計額	1,527	2,209	+ 681
<b>純資産合計</b>	<b>8,711</b>	<b>9,340</b>	<b>+ 629</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>36,903</b>	<b>35,995</b>	<b>△ 907</b>
<b>自己資本比率</b>	<b>23.6%</b>	<b>25.8%</b>	<b>2.2pt</b>

**流動資産**

- ・受取手形及び売掛金 : △2,547百万円
- ・電子記録債権 : △136百万円
- ・在庫 : +1,476百万円

**固定資産**

- ・投資その他の資産 : △430百万円

**流動負債**

- ・支払手形及び買掛金 : △1,901百万円
- ・短期借入金 : △142百万円

**固定負債**

- ・長期借入金 : △127百万円

**純資産**

- ・利益剰余金 : △86百万円
- ・為替換算調整勘定 : +683百万円

## 2. 2024年3月期（第14期）通期業績予想



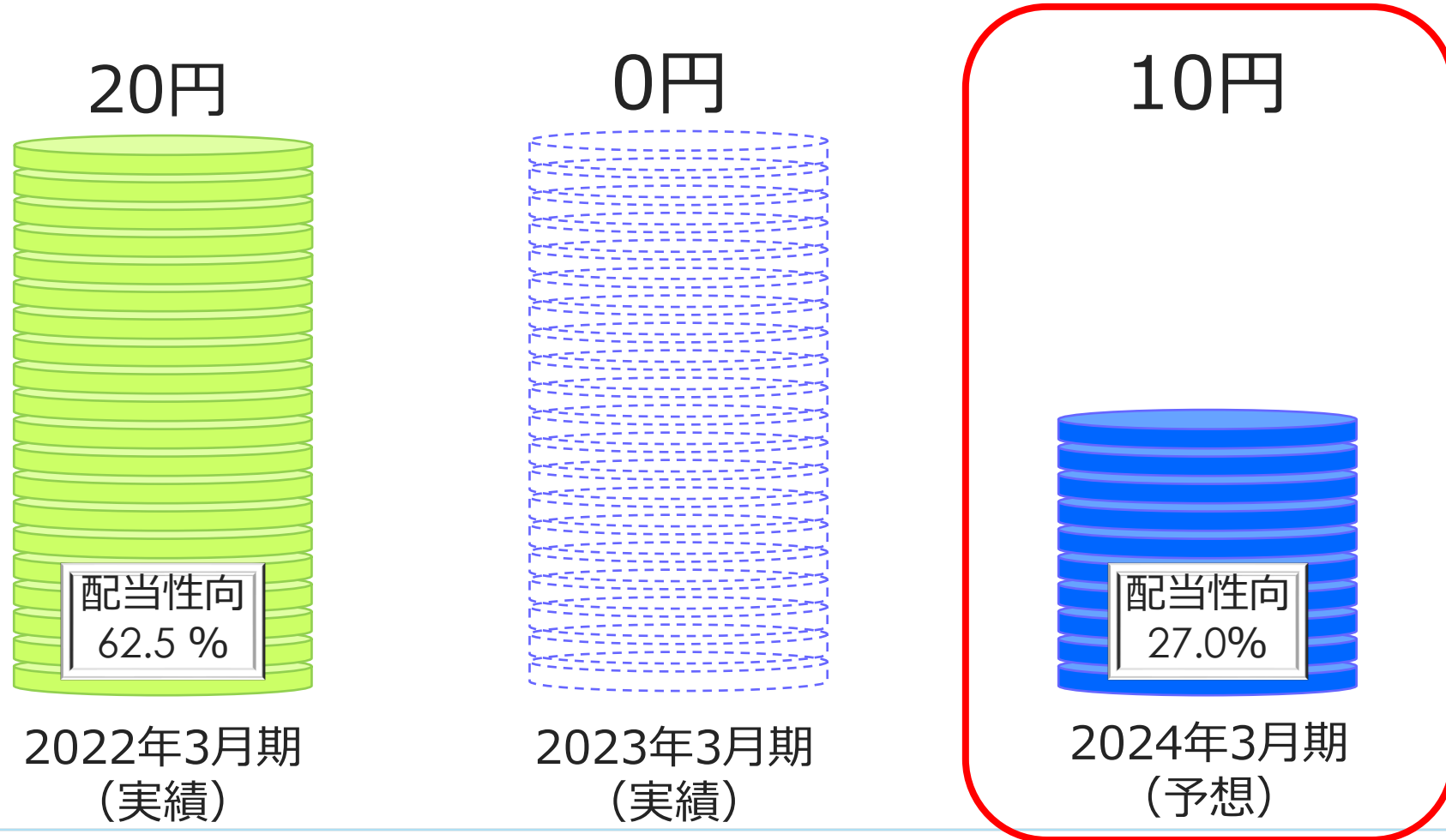
## (1) 2024年3月期 業績予想 (前期比較)

単位：百万円

	2023年 3月期 実績	2024年 3月期 予想	増減	増減率	前年度実績比 <b>增收増益</b>
売上高	43,765	48,000	4,234	9.7%	<u>增收要因</u> ・ 連結範囲の拡大 ・ 既存事業の底上げ
営業利益	△ 530	800	1,330	—	
経常利益	△ 405	600	1,005	—	
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	△ 1,553	500	2,053	—	<u>増益要因</u> ・ 連結範囲の拡大 ・ 経費の削減

## (2) 2024年3月期 配当予想

業績回復を見込むことから、10円の復配を予想



## 3. トピックス

# (1) テクノホライゾングループが創るスマートDXの世界

## Techno Horizon Unicity

街に暮らす人々が効率よく快適に暮らし働ける場所に変えていきます

- ✓ 建物を造り直す、街を再開発するわけではありません。
- ✓ 保有する技術、これから生み出す技術でスマート化された暮らしを創造していきます。



## (2) テクノホライゾングループが目指す明るい社会

### 学校・教育

- ★誰もがどこからでも質の高い教育を受けられる新しい学びの場を提供
- ★データとテクノロジーで最適な指導のアドバイス、働き方改革実現

### オフィス

- ★経営者、従業員の創造力、マネジメント力の最大化ソリューション提供
- ★効率（生産性）の向上

### 店舗・住宅

- ★店舗/交通/オフィス/工場などのあらゆる生活シーンを映像とITで「街=CITY」を繋ぐ
- ★建設/施工-店舗運営-セキュリティ-サポートのDX化実現

### 交通

- ★安心安全な運行、事故削減、マナー改善に貢献
- ★交通機関を利用する人やモノの移動に生じるリスクを軽減

### 医療・介護施設

- ★映像・センシング技術による介護現場のDX化
- ★映像技術を応用した先端医療機器の開発

### 工場

- ★様々な制御技術、光学技術、IT技術でスマートファクトリー化に貢献
- ★成形市場・基板実装市場をリード
- ★自動化困難な目視検査の自動化



## (3) 認知度アップ：展示会等への出展

年間を通じて国内外75超の展示会等に出展予定



---- 来期開催情報 ----

今年もプライベート展示会を開催しました。  
ご来場誠にありがとうございました。

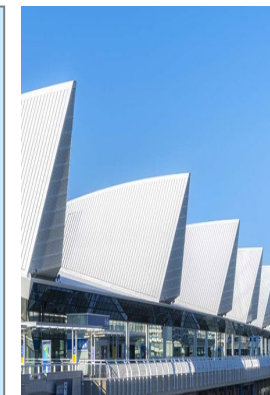


### テクノホライゾン ソリューションEXPO 2024

横浜会場

会期：2024年11月6日（水）・7日（木）

会場：パシフィコ横浜 展示ホールD



# (4) グローバル化を加速

国内46拠点  
海外44拠点

多様性に満ちた人材で  
グローバルなニーズに応える

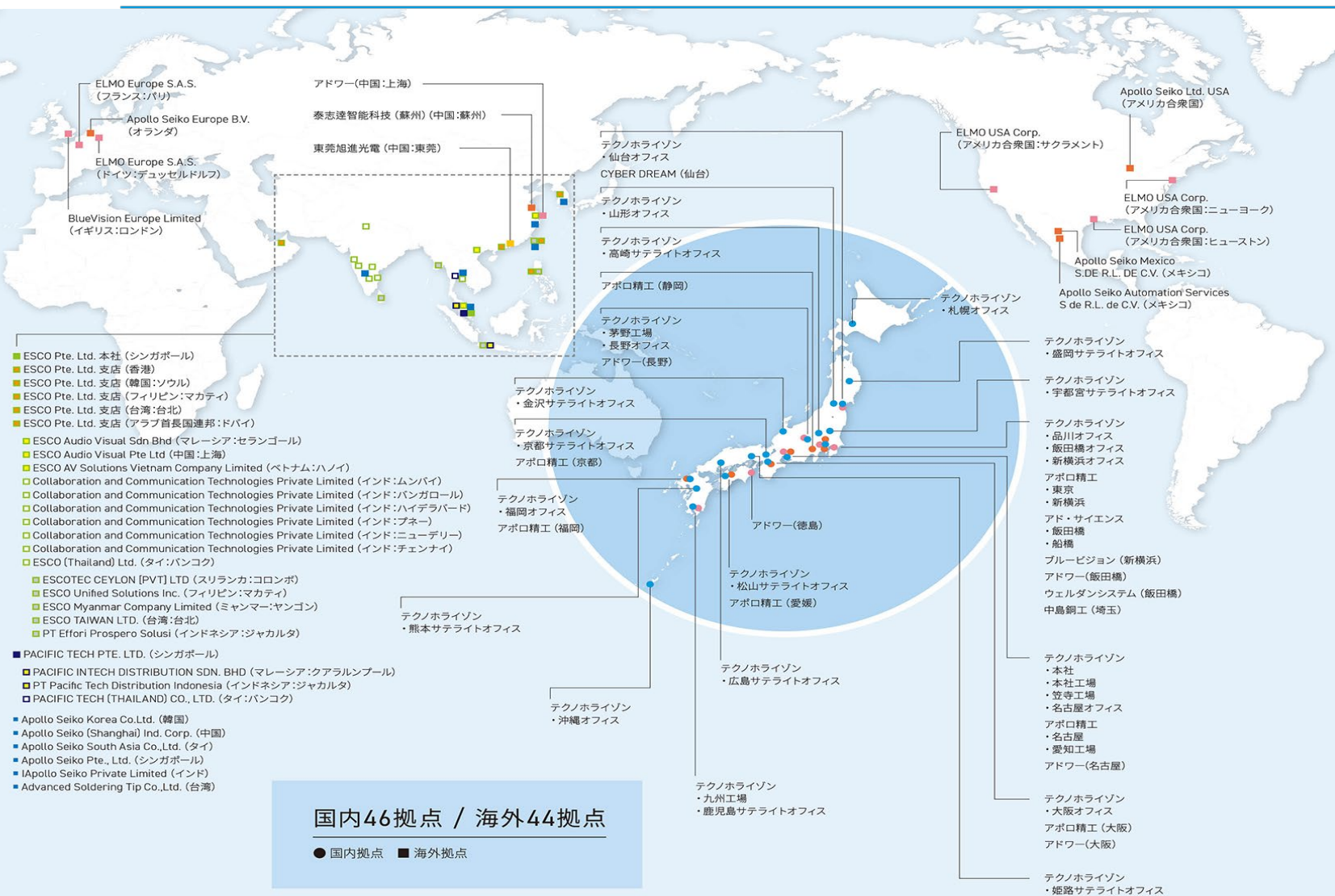


## 課題感

- ✧ 人材確保・育成
- ✧ コーポレート・ガバナンス

国内46拠点 / 海外44拠点

● 国内拠点 ■ 海外拠点



## (5) 製品・サービス情報

### あれも！これも！かなえるボード『MOMObO (ももぼ)』

- バッテリー&キャスター搭載の32インチモバイルディスプレイ
- モビリティ性を活かし多様なシーンで活用

#### 《主な特長》

- ◇ 可動式モデル (スムーズな移動が可能)
- ◇ ワイヤレスミラーリング&タッチで書き込み機能
- ◇ デジタルホワイトボード機能
- ◇ 回転ディスプレイ



「EL32M1 MOMObO」



2名から4名ほどのコミュニケーションを想定





## (5) 製品・サービス情報

### 写真編集ソフト『SILKYPIX JPEG Photography 11 ～Package for Marine～』

- JPEG版写真編集ソフト『SILKYPIX JPEG Photography 11』に水中写真の調整方法に特化した専用の『マリンガイドブック』を内包した水中写真を撮られる方に最適なパッケージ製品

**SILKYPIX 11**  
JPEG PHOTOGRAPHY  
**Package for Marine**



#### 《主な特長》

- ◇ 水中写真を簡単に補正し被写体本来の色を再現することが可能
- ◇ 独自の技術「SILKYPIX RAW Bridge」機能により、グラデーション豊かでトーンジャンプが発生しにくい高画質な補正を行うことが出来る
- ◇ 水中写真向けの基本機能（水中用テイスト、ファインカラーコントロール等）が充実

## (6) 連結子会社の遷移



### 自己株式の取得に伴う完全子会社化

- 海外子会社であるApollo Seiko Europe B.V.が自己株式取得

#### 【目的】

アポロ精工株式会社によるApollo Seiko Europe B.V.の管理を一層強化し、欧州事業の拡大を目指すもの

#### 【対象会社の概要】

商号	Apollo Seiko Europe B.V.	
所在地	オランダ	
代表者	井上 直彦	
事業内容	自動はんだ装置及び関連機器の販売、レーザー関連製品の販売	
資本金	440,000 ユーロ (約 68 百万円)	
設立	2015 年 4 月	
大株主及び持株比率	アポロ精工株式会社 80.0% Apollo Seiko Limited (USA) 20.0% (今回の対象株式)	



### 連結子会社による子会社設立

- 海外子会社であるPACIFIC TECH PTE.LTD.がカンボジアにおいて、全額出資による子会社を設立

#### 【目的】

シンガポールから販売を行っているカンボジアに子会社を設立することで主力製品のFortinet社からディストリビューター権を取得でき、更なる事業拡大が可能となる

#### 【設立する子会社の概要】

商号	PACIFIC TECH CAMBODIA Private LTD. (仮称)	
所在地	カンボジア、プノンペン都	
代表者の役職・氏名	Managing Director・Tan Jean Kiap	
事業内容	サイバーセキュリティ機器・ソフトウェアの販売、インストール、メンテナンス、サポート事業	
資本金	KHR400,000,000 (14百万円)	
設立	2024年1月 (予定)	
出資比率	PACIFIC TECH PTE. LTD. 100%	

## (7) 2024年3月期の業績に影響する主な不確定要素

- ① 部品・商材の納期遅延
- ② 半導体価格上昇
- ③ 資源価格高騰や円安による半導体価格が上昇
- ④ 受注の減少リスク

### (対策)

- ① 購買の最適化等を通じて生産性の向上
- ②③ 販売価格の適正化
- ④ 最適な営業体制の構築

## 将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

## I R担当窓口

- 役職： 取締役
- 氏名： 加藤 靖博
- 電話： 052-823-8551
- FAX： 052-823-8560
- E-mail： [info@th-grp.jp](mailto:info@th-grp.jp)

グループ社是

風に向かう

やすらぎを誘う木陰のさわやかな風  
嵐が近づきサーフィンには持ってこいの大波  
上昇気流に乗り優雅に舞う蝶  
アゲンストにも果敢に攻めるショートホール

無難なんて言葉は無い  
状況は刻々と変化している

平等に与えられたチャンス  
授かった希望  
未来へ羽ばたく風をつかめ

# TECHNO HORIZON

IMAGING & IT × ROBOTICS

ELMO

TIETECH

APOLLO  
APOLLO SEIKO

## TECHNO HORIZON GROUP

ADS

BlueVision

ESCO  
EXCELLENCE DELIVERED

Pacific Tech

APOLLO  
APOLLO SEIKO

Adwaa

CYBER DREAM

Welldone  
system

NAKAJIMA